

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【トゥンブカ語】マラウイにはいくつかの地域語・母国語 (local language) が存在しますが、チェワ語に続く代表的な言語がトゥンブカ語です。中部・南部はチェワ語が話され、北部はこのトゥンブカ語が話されるといった様に、同じ国内であるにも関わらず異なった言語が使われるのもマラウイの特徴の一つです。この2つの言語の間には、似たような要素も持っています。例えば、単語や動詞、文法等は一部同じ言葉もあります。しかし基本的に発する音や言葉は違うので、同じ国内なのに違った言語があり、面白い文化だと興味をそそります。私がマラウイに到着してから今まで、このトゥンブカ語に触れる機会があまりなかったのですが、最近少しだけ覚えてきたので改めて興味を持ってきました。マラウイ国内で流れるラジオ等はチェワ語で放送されていますので、国民のほとんどの人はチェワ語を話せるらしいです。いくつかの例を挙げ言葉の違いをみてみましょう。単なる「ありがとう」でも全く違い面白いですね。

英語

① How are you (お元気ですか)

② Thank you (ありがとう)

チェワ語

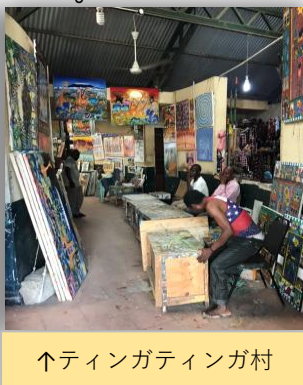
① ムリヴァンジー

② ジコモクワンビーリ

トゥンブカ語

① マウカウーリ

② タオンガチヨメーネ



↑ティンガティンガ村



とびっきりのスマイル

【アート】首都などの観光客が訪れるような都市には、様々なアフリカンアートが売られています。その中でも目に留まるのは木彫製品や鮮やかな絵画です。これらアフリカンアートですが、同じアフリカ内でも多種多様で多くの特徴があります。中でもタンザニアのティンガティンガは代表的なアフリカンアートの一つです。その可愛さは日本人にも人気があり日本国内では高値で売買されているものも数多くあります。マラウイにもマラウイを描いた鮮やかなアートが存在し、私達を楽しませてくれます。仕事の乏しいマラウイ人にとって「手に職」という物はとても重要なもの。人件費という観点から日本とマラウイを比べると、驚くほどの差があります。ですのでマラウイでは手作りで作成された作品が格安で購入する事ができるのです。しかもクオリティが高いのも多く、日本に運べる事が出来るのであれば買いたい物がたくさんあります。その理由のの一つかもしれない事柄が、希少価値のあ

【後記】ついに年号が平成から令和へと変わり、新しい時代が幕を開けましたね。当然、マラウイにおいてほとんどの人は日本のニュースなんて知りません。しかし、驚いた事に私の職場のカウンターパート（相方）はBBCニュースを通して最新情報を知ってました。やはり教養のある人は情報量が違うなと思いました。現在、グローバル化が進み簡単に世界のニュースに触れる事ができる時代となりました。これは、世界中の多くの人にチャンスをもたらすと同時にライバルも増えるんだなと感じる一面もあります。これからは、もっと世界のニュースに目を向けていこうと思いました。さて、マラウイは総選挙をまもなく迎えます。数名の隊員（特に危険が予想される地域）は既に首都へと退避しました。色々心配で怖いです。